

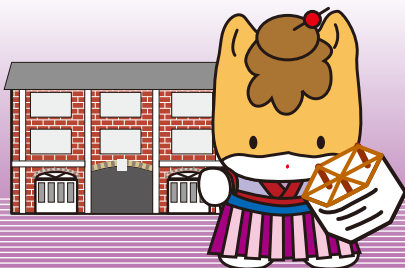
# ぐんま



発見!

## 絹遺産

ぐんま絹遺産と絹の指定文化財ガイドブック



群馬県のマスコット  
ぐんまちゃん

群馬県

## 「ぐんま絹遺産」とは

群馬県は、県内に残る養蚕、製糸、織物に関わる建造物や民俗芸能等を、「ぐんま絹遺産」として30件登録しました。

今後、登録した「ぐんま絹遺産」をネットワーク化し、これを活用した地域振興、観光、文化的事業の形成を目指します。

### 1

#### ぐんま絹遺産とは・・・

群馬県が、ぐんまの「たからもの」として登録した絹の遺産です。県内に残る養蚕、製糸、織物などの建物や場所、お祭りなどが対象です。

県では、ぐんま絹遺産をこれから多数登録して、それらをネットワーク化することで地域振興、観光、文化的事業などに役立させて、群馬をもっともっと元気になりたいと考えています。

### 2

#### 世界遺産とは・・・

世界遺産とは、「未来へ引き継ぐ地球のたからもの」として、世界遺産条約に基づき「世界遺産一覧表」に記載された文化財や自然環境のことをいいます。

世界遺産に登録されたものは、市町村、県、国が協力して保存管理をし、その周辺の環境や景観も含めた保全措置が講じられます。

### 3

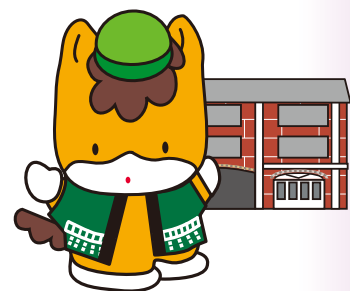
#### 世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」

明治政府の掲げる国策として、世界最大規模の製糸工場、『富岡製糸場』は生まれました。富岡製糸場の設置を契機に、日本は生糸増産のための製糸の技術革新を次々に成し遂げ、世界の生糸市場を席卷、世界の絹の服飾文化発展にも大きな役割を果たしました。

また、生糸の原料となる繭を生産する養蚕の技術革新とも相まって、絹産業の発展が日本の近代化の原動力となり、アジアにおける工業化の最初の成功例となりました。

現在、群馬県と関係市町では、これらの養蚕・製糸の国際的な技術交流と世界的な技術革新を物語る「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録を目指しています。

世界遺産登録が実現すれば、大切な文化財とその周辺環境が守られるとともに、群馬県の誇り高き歴史や先人の英知も語り継がれるでしょう。



群馬県企画部世界遺産推進課

TEL 027-226-2326 FAX 027-224-2812  
URL : <http://worldheritage.pref.gunma.jp>





Keno Area

# 県央地区

ぐんま絹遺産／県重要文化財

## 1 旧蚕糸試験場事務棟 (蚕糸記念館) [教育・研究]



この建物は、明治45年に国立原蚕種製造所前橋支所事務棟として、現在の前橋市昭和町に建てられ、昭和55年まで蚕糸試験場として使われました。玄関の柱や天井飾りに特徴を持つ明治末期の代表的な洋風木造建築物です。

- 場所／前橋市敷島町262(敷島公園ばら園内)
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約20分+徒歩約5分  
関越自動車道前橋ICから約15分
- 見学／4月～11月の土・日・祝日のみ開館。詳細は問い合わせのこと。
- 料金／無料
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-231-9875

ぐんま絹遺産／前橋市重要文化財

## 2 旧関根家住宅 [養蚕]



旧関根家住宅は、赤城南麓に多くみられた典型的な養蚕農家で、赤城型民家と呼ばれています。屋根裏で蚕を飼うために光と風が取り入れやすいように、正面の屋根の中央部を切り落とされているのが大きな特徴です。

- 場所／前橋市西大室町2510(大室公園内)
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約50分  
北関東自動車道駒形ICから約15分
- 見学／4～11月毎日(月曜休館) 12～3月土、日、祝(年末年始休館)
- 料金／無料
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-231-9875

ぐんま絹遺産／前橋市重要無形民俗文化財

## 3 春日神社太々神楽 [養蚕]



前橋の春日神社で、5月3日の祭礼の日に奉納される豊蚕を祈願する太々神楽です。1組の夫婦と2人の下男が養蚕の様子を演じ、養蚕が盛んであった前橋周辺の農民の姿を生生きと表現しています。

- 場所／前橋市上佐島町368-1
- 交通／JR前橋駅から車約10分  
北関東自動車道前橋南ICから約5分
- 見学／祭礼日 5月3日
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-231-9875

ぐんま絹遺産／国登録有形民俗文化財

## 4 前橋の養蚕・製糸用具及び関連資料 [養蚕]



前橋市内で使用された江戸時代後期～昭和初期までの養蚕・製糸用具と、養蚕信仰関係及び国立原蚕種製造所関係など633点の資料です。地域の生業の様子と変遷をよく示すもので、蚕糸記念館で展示されています。

- 場所／前橋市敷島町262(敷島公園ばら園内)
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約20分+徒歩約5分  
関越自動車道前橋ICから約15分
- 見学／4月～11月の土・日・祝日のみ開館。詳細は問い合わせのこと。
- 料金／無料
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-231-9875

ぐんま絹遺産／県史跡

## 5 船津伝次平の墓 [養蚕]



船津伝次平(1832～1898)は日本三大老農の一人です。養蚕の基本である桑の栽培の研究をし、「桑苗簾伏法」を出版したのははじめ、農業全般の近代化に貢献し、駒場農学校(現東京大学農学部)の教官となりました。

- 場所／前橋市富士見町原之郷乙539
- 交通／JR両毛線前橋駅からバス約20分  
関越自動車道前橋ICから約20分
- 見学／墓参り可能
- 問／前橋市文化財保護課 TEL 027-231-9875

ぐんま絹遺産／県史跡

## 6 馬場重久の墓 [養蚕]



桃井莊(現吉岡町)に生まれた、江戸時代前期の農学者であり医者。若いころから蚕を細かく観察し、科学的に養蚕を研究しました。研究成果をまとめた『蚕養育手鑑』(1712年)は、民間の蚕書としては国内で最も古いものです。

- 場所／吉岡町北下329-1
- 交通／JR群馬総社駅から車約15分  
関越自動車道駒寄PASスマートICから約5分
- 見学／墓参り可能
- 問／吉岡町生涯学習室 TEL 0279-54-3111

ぐんま絹遺産／県天然記念物

## 7 下郷の大クワ [養蚕]



ヤマガワ系統の雄木で、樹齢400年と推定され、樹高は約9mになります。幹が2つに分かれています。これは落雷で根元から裂けたといわれています。葉の芽吹きに先駆けて開花する雄花は、昔は稚蚕の飼料となりました。

- 場所／渋川市渋川1274
- 交通／JR上越線渋川駅から徒歩約10分  
関越自動車道渋川伊香保ICから約3分
- 見学／随時見学可
- 問／渋川市文化財保護課 TEL 0279-52-2102

ぐんま絹遺産

## 8 田島家住宅 [養蚕]



通風を重視した蚕の飼育法「清涼育」を大成した田島弥平が、文久3年(1863)に建てました。主屋兼蚕室は、間口25m、奥行き9mの2階建てです。屋根に風通しを考え、換気用の越し屋根を付けた近代養蚕家屋の原点となった建物です。

- 場所／伊勢崎市境島村
- 交通／JR伊勢崎駅から車約22分  
関越自動車道本庄尻玉ICから約20分
- 見学／個人宅の為、非公開  
外観のみ見学可
- 問／伊勢崎市文化財保護課 TEL 0270-63-3636

渋川市重要無形民俗文化財

## 9 下南室太々神楽 [養蚕]



下南室の赤城神社で豊蚕を祈願し奉納される里神楽です。「養蚕の舞」では、まず養蚕の神様絹笠大明神が現れ、次にオカメとヒョットコ2人が養蚕の手順を舞で表現します。現在は4月第1日曜日に祭礼が行われています。

- 場所／渋川市北橋町
- 交通／JR上越線渋川駅から車約22分  
関越自動車道渋川伊香保ICから約18分
- 見学／祭礼日 4月第1日曜日
- 問／渋川市文化財保護課 TEL 0279-52-2102



## 県史跡

### 10 吉田芝溪の墓 [養蚕]



吉田芝溪は江戸時代中期~後期の農学者で、家業の繭糸商のかたわら儒学を学びました。一族で山林5haを開拓し、畑の周囲に桑を植え養蚕を行いました。この経験をもとに養蚕の技術書「養蚕須知」を著しました。

- 場所 / 渋川市御蔭4098,4092
- 交通 / JR上越線渋川駅から車約15分  
関越自動車道渋川伊香保ICから約18分
- 見学 / 墓参り可能
- 問 / 渋川市文化財保護課 TEL 0279-52-2102

## 渋川市天然記念物

### 11 大クワ [養蚕]



樹齢が推定300年のヤマグワです。高さ5m、根元回り3.5mで、幹は根元から3本に分かれ、枝張り範囲は11m×15mになります。これほどの大木は珍しく、人々に大切にされたことがわかります。

- 場所 / 渋川市北橋町
- 交通 / JR上越線八木原駅から車約20分  
関越自動車道渋川伊香保ICから約26分
- 見学 / 外観のみ見学可
- 問 / 渋川市文化財保護課 TEL 0279-52-2102

## 伊勢崎市有形文化財

### 12 養蚕新論版木 [養蚕]



明治5年(1872)、境島村の養蚕家田島弥平が著した養蚕書です。蚕の飼育法「清涼育」の実践書で、多くの人々に読まれ、近代養蚕法の基礎を築いたと高く評価されています。現在、版木はすべて田島家に保存されています。

- 場所 / 伊勢崎市境島村
- 見学 / 個人所有のため非公開
- 問 / 伊勢崎市文化財保護課 TEL 0270-63-3636

## 伊勢崎市有形文化財

### 13 伊勢崎の太織 [織物]



太織とは、太糸を使った平織りの厚地の絹織物です。この太織は、天保年間(1830~1844)から明治末に製織され、仕立てられた25点の絹織物製品です。明治から戦前に糸屋と呼ばれた織物原料商の佐藤家が収集しました。

- 場所 / 伊勢崎市曲輪町
- 見学 / 個人所有のため非公開
- 問 / 伊勢崎市文化財保護課 TEL 0270-63-3636

## 伊勢崎市有形文化財

### 14 金井研香筆 境街糸市繁盛之図 [流通]



境島村出身の南画家金井研香61歳の作品で、当時境町で開かれていた糸市の繁昌ぶりが描かれています。寺門静軒の賛「洋銀は地に鋪きて殆ど水の如し」からは、生糸が盛んに海外へ輸出された様子がうかがえます。

- 場所 / 伊勢崎市西久保町2-98 (伊勢崎市立赤堀歴史民俗資料館)
- 交通 / JR両毛線国定駅からバス約10分+徒歩5分  
北関東自動車道伊勢崎ICから約10分
- 見学 / 休館日: 月曜日・祝祭日の翌日・年末年始 展示中か要確認
- 料金 / 無料
- 問 / 伊勢崎市立赤堀歴史民俗資料館 TEL 0270-63-0030



## ぐんま絹遺産 / 国重要文化財・史跡

### 15 旧富岡製糸場 [製糸]



明治5年に明治政府が設立した官営の器械製糸場です。民営化後も一貫して製糸を行い、115年間使用されました。創業時の長さ100mを超える木骨レンガ造りの繭倉庫や繰糸場など主要な施設がほぼ完全に残されています。

- 場所 / 富岡市富岡1-1
- 交通 / 上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分  
上信越自動車道富岡ICから約10分
- 見学 / 休館日: 12月29~31日
- 料金 / 大人500円、高大生250円、小中生150円
- 問 / 富岡市富岡製糸場課 TEL 0274-64-0005

## ぐんま絹遺産 / 国重要文化財

### 16 碓氷峠鉄道施設 [流通]



明治26年横川-軽井沢間に碓氷線が開通しました。急勾配をアプト式の登坂機構で克服し、当時の重要な輸出品であった生糸や繭等を運びました。レンガ造りのアーチ橋やトンネル、旧丸山変電所が残っています。

- 場所 / 安中市松井田町坂本
- 交通 / JR信越線横川駅から車約15分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約25分
- 見学 / 随時可
- 問 / 安中市学習の森 TEL 0272-382-7622

## ぐんま絹遺産 / 国重要文化財

### 17 旧黒澤家住宅 [養蚕]



幕府天領の大総代を務めた旧家。建物は切妻造りの栗板葺石置屋根で、19世紀中頃の建築と考えられています。1階は13部屋ありますが、2階は仕切りのない大部屋で養蚕に使われました。現在は民具を展示しています。

- 場所 / 上野村楢原200-9
- 交通 / 上信越自動車道下仁田ICから約30分
- 見学 / 休館日: 水曜、年末年始
- 料金 / 大人300円、子ども100円
- 問 / 上野村教育委員会 TEL 0274-59-2657

## ぐんま絹遺産 / 県重要文化財

### 18 旧碓氷社本社事務所 [製糸]



碓氷社は明治11年に農家が組合員となり組織した、県内初の組合製糸。仕上げの揚げ返しを共同で行い生産した生糸は、器械製糸に勝るとも劣らないものでした。明治38年建設の本社は、外観は和風で構造は洋式の建物です。

- 場所 / 安中市原市2-10-16
- 交通 / JR信越線碓氷坂駅から車約10分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約20分
- 見学 / 外観のみ見学可。
- 問 / 安中市学習の森 TEL 027-382-7622

## ぐんま絹遺産 / 富岡市重要文化財

### 19 妙義神社青銅製燈籠 [養蚕]



妙義神社入り口の階段の手前に建つ総高4.35mの青銅製の燈籠です。元治元年(1864)6月、「養蚕倍盛・商売繁盛」を祈願して諸国の糸繭商人、諸商人、養蚕家の人々など合計223人の寄進により建てられました。

- 場所 / 富岡市妙義町妙義3
- 交通 / JR信越線松井田駅から車約5分  
上信越自動車道松井田妙義ICから約3分
- 見学 / 随時可。
- 問 / 富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511



ぐんま絹遺産／富岡市重要文化財

20 貫前神社唐銅製燈籠【養蚕】



貫前神社総門の前に建てられた高さ3.95mの一対の青銅製の燈籠で、慶応2年(1866)に、養蚕や生糸生産の繁栄興隆を願って建てられました。県内各地の養蚕農家や生糸商人、さらには東京や横浜の生糸・絹商人合計1,544人が献金しました。

- 場所／富岡市一ノ宮1535
●交通／上信電鉄上州一ノ宮駅から徒歩約10分
上信越自動車道富岡ICから約10分
●見学／随時可。
●問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511

ぐんま絹遺産／富岡市・下仁田町重要文化財

21 旧上野鉄道関連施設 鬼ヶ沢橋梁【流通】



上野鉄道は軌道幅の狭い軽便鉄道で、明治30年に富岡や下仁田地域の繭や生糸、蚕種等の輸送のために建設されました。鬼ヶ沢橋梁は長さ10m、幅1mの鉄橋で、国産の鉄橋としては最も古い時期のもです。

- 場所／富岡市南蛇井、下仁田町大字白山
●交通／上信電鉄千平駅から徒歩約15分
上信越自動車道下仁田ICから約10分
●見学／見学困難。
●問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511 下仁田町ふるさとセンター TEL 0274-82-5345

ぐんま絹遺産／甘楽町重要文化財

22 旧小幡組製糸レンガ造り倉庫【製糸】



養蚕農家が各家で生産した生糸を、作業場に集め品質をそろえて共同販売したのが組合製糸です。この地区では甘楽社小幡組が組織され、この倉庫は、繭や生糸を保管するために大正15年に建てられました。

- 場所／甘楽町大字小幡852-1(甘楽町歴史民俗資料館)
●交通／上信電鉄上州福島駅から徒歩約5分
上信越自動車道富岡ICから約5分
●見学／休館日：月曜日、年末年始 外観は随時見学可
●料金／一般200円、小中学生100円
●問／甘楽町歴史民俗資料館 TEL 0274-74-5957

ぐんま絹遺産／国史跡

23 高山社跡【養蚕・教育】



中世からの旧家高山家に生まれた長五郎は、「清温育」という養蚕飼育法を確立し、この地に養蚕教育機関高山社を設立しました。今も残る母屋兼蚕室は、清温育のために工夫された構造で、高山社分教場として多くの生徒の実習に利用されました。

- 場所／藤岡市高山竹之本236-1外
●交通／JR群馬藤岡駅から徒歩約30分+徒歩約5分
上信越自動車道藤岡ICから車約20分
●見学／平日のみ。休日の見学は、事前にお問い合わせのこと。外観は見学可。
●問／藤岡市文化財保護課 TEL 0274-23-5997

ぐんま絹遺産／国史跡

24 荒船風穴【養蚕】



明治末に造られた、岩の隙間から吹き出す冷風を利用した蚕種(蚕の卵)の貯蔵施設で、取引先は全国2府32県に及びました。3基の風穴があり、貯蔵能力は国内最大規模で、現在でも石積みの中から天然の冷風が吹き出しています。

- 場所／下仁田町大字南野牧甲10690-1外
●交通／上信電鉄下仁田駅から徒歩約30分
上信越自動車道下仁田ICから約40分
●見学／冬期期間は見学に制限あり。風穴内部は立入禁止。
●問／下仁田町ふるさとセンター TEL 0274-82-5345

ぐんま絹遺産／富岡市史跡

25 富岡製糸場工女等の墓(海源寺)【製糸】



官営工場時代に、全国から集まった工女たちの中には、故郷を離れての慣れない集団労働のため、若くして病に倒れ、この地で亡くなった人もいました。海源寺には明治6年～9年に亡くなった工女・工男の3基の墓があります。

- 場所／富岡市富岡150
●交通／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
上信越自動車道富岡ICから約10分
●見学／墓参り可能。
●問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511

ぐんま絹遺産／富岡市史跡

26 富岡製糸場工女等の墓(龍光寺)【製糸】



官営工場時代に、全国から集まった工女たちの中には、故郷を離れての慣れない集団労働のため、若くして病に倒れ、この地で亡くなった人もいました。龍光寺には、明治7年から民営化後の明治33年までの工女の墓があります。

- 場所／富岡市富岡1093
●交通／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分
上信越自動車道富岡ICから約10分
●見学／墓参り可能。
●問／富岡市文化財保護課 TEL 0274-62-1511

ぐんま絹遺産

27 旧上野鉄道関連施設 下仁田倉庫【流通】



近隣産物の集散地である下仁田駅に隣接して、大正10年と15年に建てられた2棟のレンガ倉庫です。倉庫を経営した会社は、繭商人が農家から買い取った繭を保管したほか、繭乾燥業や金銭貸付業も営んでいました。

- 場所／下仁田町下仁田430-1
●交通／上信電鉄下仁田駅から徒歩約1分
上信越自動車道下仁田ICから約10分
●見学／外観のみ見学可。敷地内は立入禁止。
●問／下仁田町ふるさとセンター TEL 0274-82-5345

ぐんま絹遺産

28 群馬県立日本絹の里【教育・研究】



群馬県の伝統産業である養蚕・製糸・織物の歴史と天然繊維である絹の素晴らしさを紹介する拠点施設です。ちりめん細工など絹にまつわる様々な企画展示のほか染色・機織り・まゆクラフトなどの体験学習も行っています。

- 場所／高崎市金古町888-1
●交通／JR高崎線高崎駅から徒歩約30分+徒歩20分
関越自動車道前橋ICから約20分
●見学／休館日：火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始 ※臨時休館あり
●料金／一般200円、大・高生100円、企画展開催時は別料金
●問／群馬県立日本絹の里 TEL 027-360-6300

安中市重要文化財

29 碓氷社万国博覧会英文表彰状【製糸】



碓氷社は自社製糸糸の品質を国際的に認めてもらうため、海外の万国博覧会に積極的に出品しました。明治13年のメルボルン万博(オーストラリア)と、明治26年のシカゴ万博(アメリカ)で受賞した際の表彰状です。

- 場所／安中市上間1951(学習の森ふるさと学習館)
●交通／JR信越線安中駅から徒歩約15分
上信越自動車道富岡ICから約15分
●見学／休館日：水曜、祝日の翌日、年末年始
●料金／一般100円、企画展開催時は別料金
●問／安中市学習の森 TEL 027-382-7622

高崎市史跡

30 柏木沢の蚕影碑【養蚕】



明治20年5月に、ひょう(雹)が降り、数十cmも積もりました。桑畑は全滅し、蚕に桑を与えられなくなったため、養蚕農家は泣く泣く丘に蚕を埋めました。この碑は蚕神を祀り、蚕を供養するために村人が建てたものです。

- 場所／高崎市箕郷町柏木沢1936
●交通／JR高崎駅から徒歩約40分
関越自動車道前橋ICから約30分
●見学／随時見学可
●問／高崎市文化財保護課 TEL 027-321-1292

高崎市天然記念物

31 大林馬道の大クワ【養蚕】



個人宅の入口にある樹高10mの桑で、樹齢は推定250年余りです。牛馬が荷を運ぶ交通手段であった時代には、各家に一時的に手綱をつなぎとめておく樹木があり、この木も昭和初期まで馬つなぎに活用されていました。

- 場所／高崎市中室田町5158
●交通／JR高崎駅から徒歩約40分
関越自動車道前橋ICから約50分
●見学／外観のみ見学可。ただし5～8月の見学はご遠慮下さい。駐車場なし。
●問／高崎市文化財保護課 TEL 027-321-1292





ぐんま絹遺産／国重要文化財

32 富沢家住宅【養蚕】



富沢家は地元の村の名主を代々つとめた旧家です。この家屋は18世紀末頃の建築で、二階に専用蚕室を持つ国内最古級の養蚕農家です。大きな家で間口は23.9m、奥行きは12.9mあります。屋根に特徴があり、二階に光と風を取り入れるため茅葺きの正面を切り上げた構造です。

- 場所／中之条町大道1274
- 交通／JR吾妻線中之条駅から車約20分  
関越自動車道月夜野ICから約30分
- 見学／随時見学可。(2階は見学不可)
- 料金／無料
- 問／中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 TEL 0279-75-1922

ぐんま絹遺産／沼田市重要文化財

33 旧鈴木家住宅(沼田市南郷の曲屋)【養蚕】



東北地方の民家によく見られる形式で、県内では珍しい茅葺屋根の曲屋です。名主をつとめた旧家で、天明5年(1785年)頃の建築ですが、後に養蚕のために台所の二階部分を蚕室とするなど改築が行われました。

- 場所／沼田市利根町日影南郷158-1
- 交通／JR上越線沼田駅からバスで約40分  
関越自動車道沼田ICから約30分
- 見学／休館日：木曜、年末年始
- 料金／大人 100円、中学生 50円
- 問／沼田市利根町振興局産業課 TEL 0278-56-2111

ぐんま絹遺産／国史跡

34 東谷風穴【養蚕】



岩の隙間から吹き出す冷気を利用した蚕種(蚕の卵)の貯蔵施設です。蚕種を貼り付けた種紙を10万枚前後貯蔵でき、県内第2位の規模でした。明治40年に貯蔵を開始し戦前まで使用されました。現在は貯蔵穴2基と事務所の基礎が残っています。

- 場所／中之条町大字赤坂
- 交通／JR吾妻線中之条駅から車約20分  
関越自動車道月夜野ICから約45分+徒歩約10分
- 見学／見学困難
- 問／中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」 TEL 0279-75-1922

ぐんま絹遺産／国天然記念物

35 薄根の大クワ【養蚕】



山桑(ヤマグワ)では日本一の巨木で、樹高は約13m、根本周囲は約5.7m、樹齢は1500年と推定されています。地元では「養蚕の神」として祀られており、周囲の桑園が霜害にあった際には、この桑の葉を養蚕に用いました。

- 場所／沼田市石巻町1777
- 交通／JR上越線沼田駅からバス約23分+徒歩約2分  
関越自動車道沼田ICから約15分
- 見学／随時見学可。
- 問／沼田市社会教育課 TEL 0278-23-7565

ぐんま絹遺産／国重要伝統的建造物群保存地区

36 六合赤岩養蚕農家群【養蚕】



白砂川の段丘と山に挟まれた集落です。集落の本道沿いに近代養蚕農家が建ち並び、その周囲に宗教施設や墓地が、さらにその周囲を農地が取り巻いています。明治から昭和40年頃迄は養蚕が盛んに行われていました。

- 場所／中之条町大字赤岩
- 交通／JR吾妻線長野原草津口駅からバス約12分+徒歩5分  
関越自動車道沼田ICから約80分
- 見学／随時見学可。ガイド付き見学有り(要予約)
- 料金／ガイド料:団体(20名ほど)2000円、個人(1名)500円
- 問／中之条町六合支所教育グループ TEL 0279-95-3013  
ふれあいの家赤岩重伝案内所 TEL 0279-95-3008

県重要無形民俗文化財

37 門前春駒【養蚕】



「春駒」は新年に行う豊作祈願の門付け芸で、門前地区でも家内安全と養蚕の豊作を祈願する祭りとなっています。旧暦の元旦である2月11日に、青年の男子がおっかあ1人、踊り子2人、おっとう1人に扮し、歌と踊りを披露しながら家々を廻ります。

- 場所／川場村門前
- 交通／JR上越線沼田駅からバスで約30分  
関越自動車道沼田ICから約15分
- 見学／祭礼日 2月11日
- 問／川場村教育委員会 TEL 0278-52-3286

国重要有形民俗文化財

38 上州藤原(旧雲越家)の生活用具及び民家【養蚕】



明治20年に建てられた萱葺木造平屋建ての農家で、藤原地方の典型的な家屋です。雲越家でもかつては養蚕が盛んに行われ、明治から昭和にかけての2,500点を超える生活用具の中に養蚕関係の道具もたくさん残されています。

- 場所／みなかみ町大字藤原3688
- 交通／JR上越線水上駅から車約42分  
関越自動車道水上ICから約45分
- 見学／開館日：土・日・祝日
- 料金／大人 200円、小・中学生 100円
- 問／みなかみ町生涯学習推進室 TEL 0278-25-5025

県史跡

39 中居屋重兵衛の墓【流通】



中居屋重兵衛(1820～1861?)は吾妻郡中居村(現・嬭恋村三原)に生まれ、江戸で、白根山の硫黄を用いた火薬の製造販売を行い成功しました。開港後は横浜に出店、上州生糸などの販売で巨利を得たと言われています。

- 場所／嬭恋村三原
- 交通／JR吾妻線万座鹿沢口駅から徒歩約15分  
関越自動車道沼田ICから約80分
- 見学／墓参り可能。
- 問／嬭恋郷土資料館 TEL 0279-97-3405

東吾妻町史跡

40 加部安左衛門関係遺跡【流通】



加部家は、特産品の麻・繭・たばこなどの取引で県内でも有数の巨富を蓄えた旧家です。安左衛門(1829～1894)は、横浜が開港するとすぐに横浜に大きな店を出し、生糸・麻・呉服などの貿易を行い財を成しました。

- 場所／東吾妻町大戸
- 交通／JR吾妻線原町駅からバス約15分  
関越自動車道沼田ICから約60分
- 見学／見学可。生家の中の見学は教育委員会に要確認。
- 問／東吾妻町教育委員会 TEL 0279-59-3370





Tomo Area

# 東毛地区

ぐんま絹遺産 / 県重要文化財

## 41 旧上毛モスリン事務所【織物】



モスリンという毛織物の製造会社の事務所です。明治41～43年の建築です。外観は左右対称で、張り出しの浅い屋根など明治期の洋風建築の特徴をよく表しています。戦後は神戸生糸(株)館林工場の事務所として使用されました。

- 場所 / 館林市城町2-3
- 交通 / 東武伊勢崎線館林駅から徒歩15分  
東北自動車道館林ICから約10分
- 見学 / 休館日：月曜日、祝日の翌日、年末年始
- 料金 / 無料
- 問 / 館林市文化振興課 TEL 0276-74-4111

ぐんま絹遺産 / 桐生市重要文化財

## 42 旧模範工場桐生燃糸合資会社事務所棟【織物】



大正6年に建築された燃糸工場事務所棟で、県内最古の洋風石造建造物です。かつては敷地内にノコギリ屋根工場が並び建ち、糸の「燃り」掛を機械化した、全国6カ所の「模範工場」の一つでした。

- 場所 / 桐生市巴町2-1832-13
- 交通 / JR両毛線桐生駅より徒歩4分  
北関東自動車道太田藪塚ICから約20分
- 見学 / 地震の影響で当分の間休館します。
- 問 / 桐生市文化財保護課 TEL 0277-46-1111

ぐんま絹遺産

## 43 群馬県繊維工業試験場【企業支援・研究】



明治38年染織業の技術改良のために前身が設立されました。昭和52年に桐生と伊勢崎の試験場が統合された現在の繊維工業試験場となりました。製織・染色・加工の研究他、遺伝子組み換えカイコ絹糸研究も行っています。

- 場所 / 桐生市相生町5-46-1
- 交通 / JR両毛線岩宿駅より徒歩約20分  
北関東自動車道太田藪塚ICから約20分
- 見学 / 一般公開日：4月の科学技術週間・群馬県民の日
- 問 / 群馬県繊維工業試験場 TEL 0277-52-9950

国重要文化財

## 44 彦部家住宅【織物】



室町時代に足利将軍に仕え、その頃桐生に移り住んだ旧家です。堀と土塁に囲まれた屋敷内には、江戸時代17世紀中期の主屋や長屋門などが残っています。また近世から近代にかけて織物業を営み、地域の産業の隆盛を支えました。

- 場所 / 桐生市広沢町6-877
- 交通 / JR桐生駅からバス約18分  
北関東自動車道太田桐生ICから約10分
- 見学 / 開館日：土・日・祝日（平日及び団体の見学は事前申し込み要）
- 料金 / 大人 500 円、子ども 300 円
- 問 / 彦部家住宅 TEL 0277-52-6596

桐生市重要文化財

## 45 赤城型民家【養蚕】



赤城型民家とは、赤城山南麓に多く見られる茅葺き屋根の前面中央を切り上げた建築様式です。これは屋根裏を養蚕に利用する目的で、光と風を取り入れるためです。この家は明治初め、前橋市内に建てられたものを移築したものです。

- 場所 / 桐生市新里町鶴ヶ谷460-1(ぐんま昆虫の森構内)
- 交通 / 上毛電鉄新里駅からバスで約5分  
北関東自動車道伊勢崎ICから約30分
- 見学 / 休館日：月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
- 料金 / 一般400円、大学生・高校生200円
- 問 / ぐんま昆虫の森 TEL 0277-74-6441

桐生市史跡

## 46 日本織物株式会社発電所跡及び煉瓦積遺構【織物】

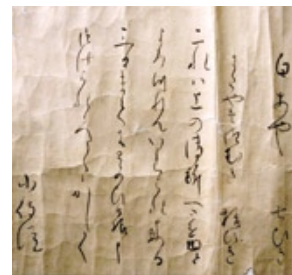


明治20年に設立された織物工場で、桐生で初めて電灯を点しました。渡良瀬川の水で水車を回し、工場の動力と発電に使いました。工場は既に取り壊されましたが大正時代のタービンと建屋、水路の一部が残されています。

- 場所 / 桐生市織姫町6-1
- 交通 / JR桐生駅から徒歩約15分  
北関東自動車道太田藪塚ICから約20分
- 見学 / 敷地外から随時見学可。
- 問 / 桐生市文化財保護課 TEL 0277-46-1111

桐生市有形文化財

## 47 彦部家文書仁田山紬注文書【織物】



足利幕府13代将軍義輝の侍女小侍従から、彦部雅楽頭晴直にあてた桐生織物の注文書です。室町時代中期のもので、この頃すでに桐生地域で紬などの織物を生産していたこと、それが京都に送られていたことがわかります。

- 場所 / 桐生市広沢町6-877
- 交通 / JR桐生駅からバス約18分  
北関東自動車道太田桐生ICから約10分
- 見学 / 実物は非公開。複製は彦部家住宅で展示。
- 料金 / 彦部家住宅 大人 500 円、子ども 300 円
- 問 / 彦部家住宅 TEL 0277-52-6596

## 養蚕

～蚕を育て繭をつくる～

農家が蚕が食べる桑を育て、蚕を飼って、その繭を出荷する仕事が「養蚕」です。



## 製糸

～繭から生糸をつくる～

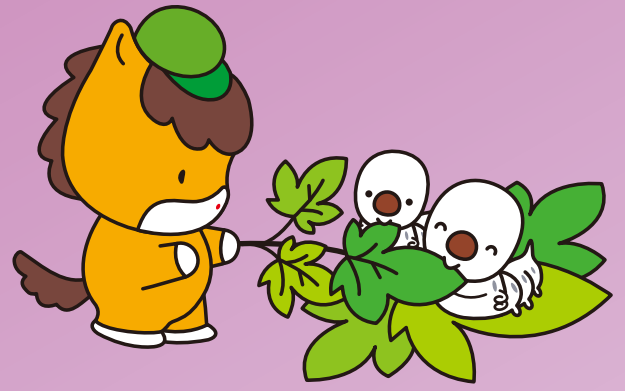
養蚕農家から購入した繭を煮て、数本の繭の糸を合わせて目的の太さの生糸をつくる仕事が「製糸」です。



## 絹織物

「繊維の女王」とも呼ばれる絹は、着物など高級衣料品に使用されています。絹で織った織物は、しなやかで強く美しい光沢があり、風合いや保温性に優れています。

# ぐんま絹遺産マップ



群馬県には、郷土の誇り高き歴史や絹産業を物語る先人から受け継いできた大切な「たからもの」がいっぱいです。

県内には、カイコを育てマユをつくる養蚕、

マユから生糸をつくる製糸、そして織物など、絹に関する歴史、文化、そして産業が息づいています。

県がぐんま絹遺産に登録したものや

国県市町村が指定している文化財をご紹介します。

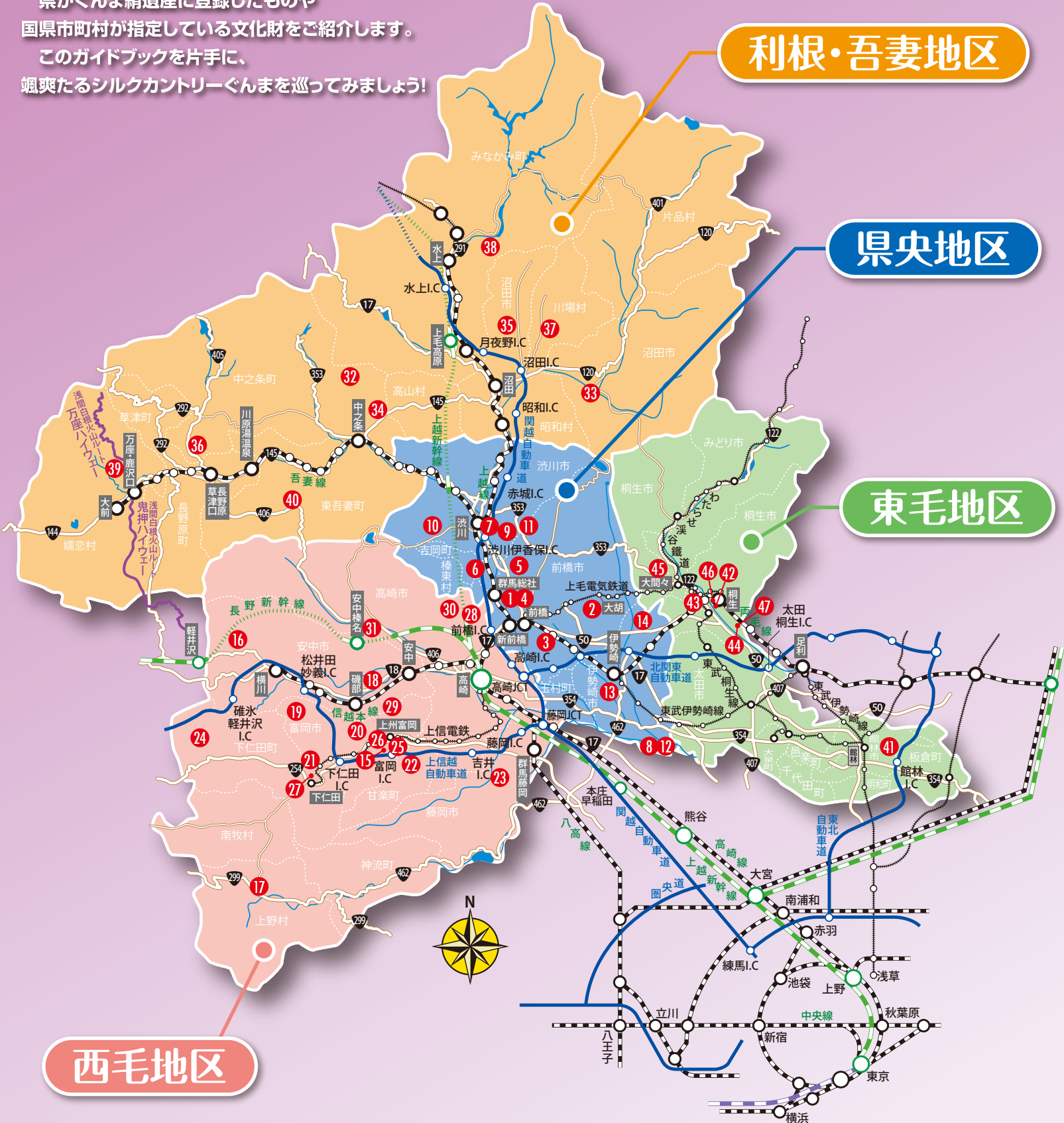
このガイドブックを片手に、  
颯爽たるシルクカントリーぐんまを巡ってみましょう！

## 利根・吾妻地区

## 県央地区

## 東毛地区

## 西毛地区



※赤丸印は、ぐんま絹遺産と絹の指定文化財の位置を示しています。